

# 新庁舎の 建設が 始まり ます

12月21日の12月定例議会最終日において、庄原市新庁舎新築工事請負契約の締結について審議された結果、原案どおり可決され、玉川・小林庄原市新庁舎新築工事特定建設工事共同企業体との契約が決定しました。

請負業者は  
玉川・小林  
共同企業体に決定

総務課行政係 ☎0824-72-1123

- 新庁舎の建築部分の工事は、工事の種類ごとに①建築・電気設備・給排水衛生設備工事、②空気調和設備工事、③空気調和熱源設備工事の3件に分けて発注しますが、今回は建築・電気設備・給排水衛生設備工事を一括して発注したもので、11月1日に告示し、12月5日に総合評価落札方式による条件付一般競争入札により行いました。
- あらかじめ公表した予定価格19億477万7,700円（消費税及び地方消費税を含む）に対し18億9,000万円（消費税及び地方消費税を含む）で契約を締結しました。
- 工期は12月22日から平成21年2月末までです。
- 空気調和設備工事については、平成20年2月に発注し、木質ペレットボイラーや地中熱を利用した空気調和熱源設備工事は、平成20年度に発注を予定しています。

総合評価落札方式による条件付一般競争入札とは、あらかじめ市が定め公表した入札参加資格条件をクリアした業者が入札に参加できるものです。入札金額のみでなくあらかじめ定めた基準により、施工計画の実施手順の妥当性や安全管理の適切性、品質の確認や管理方法の適切性を総合的に評価し、落札業者を決定する方法です。

今回は、市内業者の参入機会に配慮し、市内に本社がある業者を含む共同企業体であることを条件の一つとしました。



## 広島みどり信用金庫が 新庁舎建設へ寄付

11月22日、広島みどり信用金庫理事長の森信吟二さんから、新庁舎の建設に役立てていただきたいと、庄原市に対し200万円の寄付がありました。市では、庁舎建設基金へ積み立てて、庁舎建設に役立てることにします。